

岩見沢市新病院の骨格(案)に対する意見募集(パブリックコメント)結果

<意見募集期間 令和4年3月1日(火) から 3月31日(木)まで>

1 提出者数 32名(全50件)

2 項目別の意見数

項目	意見数
1. 新病院の医療基本理念 及び 基本コンセプト等(案)	15件
2. 新病院の標榜診療科と病床数(案)	4件
3. 新病院の建設候補地の選定と評価	25件
4. 関連施設の方向性(案)	3件
その他	3件
計	50件

3 市の考え方 頂いたご意見等に対する市の考え方を記載しております。

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
1. 新病院の医療基本理念 及び 基本コンセプト等(案)			
1	1ページ 医療基本理念・ 基本コンセプト	新病院の建設にむけた基本コンセプトに対しては何も問題ありません。 是非とも岩見沢、空知の中心の医療施設として建設して頂きたいと願います。	新病院は、引き続き南空知医療圏域の地域センター病院として、急性期を中心とする医療提供体制の充実を図ってまいります。
2	1ページ 医療基本理念・ 基本コンセプト	・市立病院と労災病院を統合する方針なのでしょうか？ 資料には統合するとは明記されていません。さらに、統合する理由が分かりやすく整理され、その上で基本コンセプトが示される必要があります。	市立総合病院と北海道中央労災病院は、令和2年2月に北海道から再編統合に向けた議論を進めるべきと論点提起されたことを契機として、約1年にわたる議論を重ねた結果、人口減少・少子高齢化が進む将来においても、市民をはじめ南空知医療圏域の住民に引き続き質の高い医療を提供していくためには、両病院を統合することが最良の選択であるという結論に至り、令和3年7月に両病院の統合に係る基本合意を行ったところです。 統合に係る基本合意に至るまでの経過などにつきましては、市立総合病院のホームページに掲載しております。
3	2ページ 重点医療機能	「新病院の重点医療機能」について、必要な地域医療の充実はもちろんのことですが、先進的な不妊治療を取り入れるなど、「少子化問題」の社会課題解決につながるような医療体制を充実させていただきたいと思えます。	今後の新病院における小児・周産期医療体制を検討するうえでの参考とさせていただきます。
4	2ページ 重点医療機能	終末期医療について全く考慮されていないと感じます。 近隣には入院可能で高度医療を伴った、終末期医療施設・緩和ケア施設がありません。 ぜひ市内で利用可能なように、この機能も新病院の重要なコンセプトに入れるべきかと思えます。 かつて家族ががんに罹り、十分なケアが受けられませんでした。本当に残念で悔しい思いを致しました。 是非ご検討をお願い致します。	新病院の重点医療機能の一つとして緩和ケア病棟の設置を掲げており、終末期医療を含むがん診療機能の強化を目指してまいります。
5	2ページ 重点医療機能	電子カルテとマイナンバーカードを活用して、住んでいる近くの医院において、医療をスムーズに受けることができるようにしてほしい。 特に、冬季や今回の様な感染症が流行した場合にはリスク分散として必要と思われる。	新病院の重点医療機能の一つとして、岩見沢市医師会や地域の医療機関との更なる連携を深め、地域医療の維持を図ることとしております。電子カルテやマイナンバーカードの活用については、今後の地域医療連携の検討を進めるうえでの参考とさせていただきます。
6	2ページ 重点医療機能	緩和ケア病棟の設立	新病院の重点医療機能の一つとして緩和ケア病棟の設置を掲げており、がん診療機能の強化を目指してまいります。
7	2ページ 重点医療機能	重点医療機能 ◎救急医療体制の充実 ◎ガン診療連携拠点病院 緩和ケア病棟並びに回復期の体制充実 ◎緊急時（流行性疾患）のゆとり病床確保（50床）	新病院の重点医療機能として、救急医療提供体制の強化を図るほか、がん診療機能の強化の一環として緩和ケア病棟の設置、回復期病棟の設置を掲げております。 新興感染症等の感染拡大時への対応については、ゾーニング（分離）により感染症対応病床を増やすなどの検討を進めてまいります。
8	2ページ 重点医療機能	耳鼻科・内科・外科それぞれお世話になりましたが、非常に待ち時間が長かつらかったです。 待ち時間3時間・診察3分・薬と会計30分	スマートフォンやAIの活用など先端技術の活用も含めて、待ち時間の短縮に向けた検討を進めてまいります。

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
9	2ページ 重点医療機能	<p>南空知中核としての病院の位置づけ 南空知の中心市としての岩見沢市民を始め近隣市町の人々が頼りにする新総合病院として、近隣市町との医療連携および情報交換を密にするとともに、高度な専門医療については札幌市に近接する利点を活かし、ワンストップにこだわることなく柔軟にそれぞれの患者へ向き合うよう、取り組んでいただきたい。</p> <p>健康経営都市宣言を基本理念とした病院づくり 岩見沢市は健康経営都市宣言をしているが、その実が見えていないため、お題目だけになっている。まず公職に就く人たちの健康改善が見える形で市民に提示することで、実利がともなってくるのではないかと。公職者の積極的な健康への働きかけを推し進めるとともに、その効果的な情報発信を推進していくべきである。</p> <p>通院だけでなく、予防の観点からの病院利用 医療職員の負担が増えない範囲で、病気になってからの病院利用だけでなく、病気になる前の予防医療という観点から、「医の知識を広める」という拠点としての新病院という役割を持たせることはできないか。知識と実践を広げることによって無駄な通院、支払わなくてもいい医療費の減少ができるのではないかと。</p> <p>市民一人一人ができることを行って、健康寿命を延ばすには 健康寿命の延伸に対する市民の意識を高めるために、たとえば医療専門の相談窓口としてZOOMなどを利用したサービスを展開する、あるいは一度退職した看護師の医療現場復帰への手段としての「民間の相談窓口」などの開設など、市民との距離を縮めることで、知識を得ることとその実践をそれぞれが自分なりのペースで積み重ねることができるようになり、それが健康寿命の延伸につながるのではないかと。</p> <p>医師の確保と市内の学力向上への働きかけ 医師は医局などに紐づけられ、なかなか自由に動けない現状があるのは理解できるが、それでは必要な医者数が確保できないというジレンマもある。そのため市内において医学部進学への特進コースをもつ高校を立ち上げ、地元で育った子供が将来の地元の医療に係るといふ、まさに地元のかかりつけ医を育てていくことが肝要であろう。またそうする道を開くことで、学力向上へのステップアップも図ることができるのではないかと。</p>	<p>今後の基本計画策定に向けた参考とさせていただきます。</p>
10	2ページ 重点医療機能	<p>新病院の重点医療機能について 「急性期医療の充実」について、南空知医療圏における「地域センター病院」として、急性期医療提供体制が整備・充実されることは、地域住民みなさんの望みです。特に、高齢化の進展に伴い、「がんの罹患率」も上昇しており、「がん診療連携拠点病院の指定」や「緩和ケア病棟の設置」には期待をしております。</p>	<p>今後の基本計画策定に向けた参考とさせていただきます。</p>

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
11	2ページ 重点医療機能	<p>重点医療機能の④救急医療の充実の項目で、「救急医療提供体制の強化」を掲げております。</p> <p>救急医療は、従来、市立病院と労災病院で交互に深夜等の対応は行われたと記憶しておりますが、今回の病院統合に伴い、一手に担わなければならないこととなります。当直の医療従事者だけでは、その負担が多くなるものと思われ</p> <p>ます。</p> <p>「救命救急センター」の設置とまでは言わないとしても、あらかじめ、なんらかの「救急外来」の窓口を準備しておくことが必要と感じます。</p> <p>また、救急対応のため、「ヘリポート」の設置も必要と思います。</p>	<p>今後の基本計画策定に向けた参考とさせていただきます。</p>
12	2ページ 施設整備方針	<p>「新病院の施設整備方針」について、経済性に配慮することも大切ですが、無機質な施設ではなく、「SDGs」「2050年脱炭素社会の実現」「ウッドチェンジ」などの社会課題解決を見据えて、道産木材をふんだんに使用するなど、市民が愛着と誇りを持てるような施設にしていきたいと思</p> <p>います。</p>	<p>今後の新病院の基本計画や設計段階における検討の参考とさせていただきます。</p>
13	2ページ 施設整備方針	<p>新病院についての意見</p> <p>食堂は必須。</p> <p>外来での待ち時間での利用や入院した時に家族との面会時の利用。</p> <p>昼時は食事の提供、その他の時間は喫茶店として運営。</p> <p>売店は1Fの目立つところにコンビニ。そのほうが利便性が高い。</p> <p>いつもお世話になっている理美容室も1Fにあったほうが利用しやすい。床屋のお兄ちゃんがすごい感じのいい人だから、建て替え後も引き続きやってほしい</p>	<p>患者や家族、面会者などが待ち時間も含めて快適に過ごせるよう、利便施設の充実に向けた検討の参考とさせていただきます。</p>

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
14	2ページ 施設整備方針	<p><建物設立に関する事></p> <ul style="list-style-type: none"> ・病棟へ行く以外の病院内移動手段として、混雑防止のためエレベーターの他にエスカレーターの設置をしてほしい。 ・病院内にコンビニ・食堂を設置してほしい ・病院と一体化した健診センターなどの設立 ・検査する場所は迷ったりすることや、患者の移動の負担もなくせるので、すべて近隣に配置してほしい ・救急・レントゲンなど緊急に必要な部署は近隣に設置 ・病棟患者の使用するトイレ・洗面所が狭く、数が少ない。車椅子の人が不安なく通れるスペースが必要。 ・病棟の廊下に荷物が多過ぎて、患者が通るときに危険。不必要な物をしまえる物品庫の充実が必要。また、廊下に洗濯物が干してあることがあるため、乾燥庫など必要。 ・業務用と一般用のエレベーターと、エレベーターホールを別にしてほしい。また、エレベーターの数を増やし広くしてほしい（現在一般用のエレベーターが2個しかないため） ・病室からエレベーターホールを離して設置し、エレベーターの音や人の出入りの音など病室に響かないようにしてほしい ・患者のシャワー室を個室にしてほしい（きちんとカーテンや囲い・ドアなどで仕切ればプライバシーの保護にもなるし、数人で同じ時間に入れるため、待つ時間が短縮されると思う。） ・病棟患者の使用したオムツを捨てる場所を入院患者が使用するトイレのところではなく、専門の場所があるとよい。（現在トイレ近くの汚物室内のごみ箱に捨ててると思うので、トイレへ行くと匂いが気になる） <p><改善してほしいこと></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計・新患者受付・外来診察者の待機場所の椅子の数を増やしてほしい。薬局を会計や新患者待機場所と離し、薬剤受け取り専用の椅子を別場所に設置してほしい。また、混雑するため、各科毎に分かれての待機場所椅子の設置があるとよい。 ・外来受付待機場所の椅子に番号をつけて、きちんと順番が守れるようにしてほしい（順番の整理券を持っていても横入りする人がいるため） ・入院時の患者の荷物を入れる場所が少なすぎるため、荷物が入る棚の検討が必要。 	<p>患者をはじめ家族・面会者など、病院を利用する全ての方が待ち時間も含めて快適に過ごせるよう、今後の新病院の基本計画や設計段階における検討の参考とさせていただきます。</p>
15	2ページ 施設整備方針	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の拡大にも対応できるとあるが（P1）、感染病床が4床と変わらず（P3）、感染症の流行拡大において医療の安全・安心が確保できる見込みが示されていない。 	<p>感染拡大時には、感染症病床4床だけではなく、ゾーニング（分離）により感染症対応病床を増やすなどの検討を進めてまいります。</p>

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
2. 新病院の標榜診療科と病床数(案)			
1	3ページ 標榜診療科	診療体制 2病院の既存診療科維持 甲状腺科も設置希望	両病院の診療科は、休診中である市立総合病院の形成外科を除き、原則維持する予定としております。 なお、甲状腺科については専門医等の配属状況にもよりますが、標榜の可否について引き続き検討してまいります。
2	3ページ 病床数	病床数は分かりますが、病室数についての記述がありません。近年は患者同士のプライバシー保護の観点を考慮する必要性が高まっております。また、感染力の強い感染症に柔軟に対応できるように、個室（一人部屋）の増室は勿論、病室は出来るだけ少ない患者人数を収容するように、これまでより病室数を増やす方向で考えて頂きたいと思っております。	プライバシーや感染対策の観点から、個室のニーズが高まっており、個室割合を増やす必要があるものと認識しております。 一方で、個室は寂しいという入院患者の声もあることを考慮し、具体的な個室数については今後検討してまいります。
3	3ページ 病床数	新病院の標榜診療科と病床数（案）について 2ページにおいて、重点医療機能の①急性期医療の充実の項目で「緩和ケア病棟の設置」とありますが、「新病院の病床数」では、「一般病床・精神病床・感染症病床」に区分けされており、「緩和ケア病床」と「回復期リハビリテーション病床」、HCU及びSCUIは、「一般病床」の中で検討とありますが、重点項目のため、病床数は合計でも、「一般病床」の内数の表示として、設置する旨が分かるようにしていただけたら安心できるのではないのでしょうか。	各病棟の具体的な病床数については引き続き検討を進め、基本計画の中でお示ししたいと考えております。
4	3ページ 病床数	・1日当たりの入院者数の推計で 年間の平均病床利用をもとにしていますが、1年間の期間中にも病床利用数が増減するはずで、ピークをもって推計する必要があります。	新病院の病床数は、将来の患者需要に対応しつつ、効率的な病院経営が可能となることを考慮し病床利用率を90%として設定しており、日々変動する入院患者の需要にも一定の弾力性を持って対応できるものと考えております。

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
3. 新病院の建設候補地の選定と評価			
1	5ページ 建設候補地の評価	<p>公共交通の利便性をすべての候補地で評価すべき。 また、バスの利用について、JR駅から1本であること、また市内どこからでも乗り継ぎ1回以内で到着できる場所であることが望ましい。これから高齢者が増え、免許返納も増えることを考えると、JR駅からのシャトルバスを設定してもいいと思います。</p>	<p>「利便性」の評価にあたっては、現在の交通体系に基づく最寄りのバス停での運行便数などに基づいて評価を行ったところです。 なお、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院の交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p>
2	5ページ 建設候補地の評価	<p>市立病院の設置場所として重要なのは、市民ができるだけ公平に利用できる環境にあるかだと考える。また、近隣地区からの利用者への配慮も考えなければならず、公共交通機関で容易にアクセスできることが求められる。 今後、西20丁目道路の新設により、駅北地区から岩見沢市街地方面へのアクセスが改善されること、救急患者の搬送ルート（特に冬期間）の安全性、岩見沢市全域から見た位置関係（できるだけ市街地中心部が望ましい）等を勘案した中、大和地区が現状での最善の候補地と史料します。 ただし他の案も示せるのであれば、美園町にある市営団地及び空知支庁官舎を取壊し立体駐車場併設の形で建設するのが一番望ましいと考える。 美園市営団地は一番古いもので建設から40年を経過する状況であり、RCといえども今後の修繕や管理に相当な資金を要するばかりか、現在は入居率も悪く岩見沢市の財政に対しメリットを感じられない。今後の費用対効果をしっかり意識して考えるのであれば、赤字の市営住宅の運営に執着するのではなく、地域包括病院としての経営を前面に出し、しっかり稼いでいける様に岩見沢市の資産投入を考えていただきたい。</p> <p>旧競馬場～日の出地区以外の市民等が利用しにくい、救急搬送に偏りが発生する 大和地区～救急搬送や設置位置的にバランスがとれている 旧駒岩跡～上記同様バランスがとれているが、一部住宅地を通過するため救急搬送に不安有 労災病院～岩見沢市の中心と言えず、市民が等しく利用しやすい場所とは言えない</p> <p>※美園市営団地～現在の場所から近く、ハザードマップ的にも問題ない地域。また近隣には保育園から大学までの教育機関等があり、働く人の生活にも適した場所であると思慮。特に小さな子供がいる世帯においては、保育園や小学校が徒歩圏内にあり、緊急時の対応にも適していると考えます。</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。 選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。 また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。 なお、ご提案のありました美園団地用地については、市有地の面積が約15,000㎡と、新病院の必要面積40,000㎡に満たないほか、想定浸水の深さが0.5mであることなどから、新病院の建設地としては相応しくないと評価したところです。</p>
3	5ページ 建設候補地の評価	<p>建設候補地は駒沢跡地もしくは大和町がいいと思います。 理由(1)現在地の病院に対して中間地点 (2)幌向、上幌向地区、東町地区の中間である事 (3)大和町なら駅が近い、駒沢跡地なら高速バス、国道が近い。</p> <p>空知の誇れる最先端医療を受けられる病院にして欲しい。 砂川市立病院が凄く評判が良い。 最先端医療、施設、スタッフ、病院がきれい等含めてです！ あとドクターヘリもあります。</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。 選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。 また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。 なお、砂川市立病院のみならず先進病院の事例を研究しながら今後の基本計画の検討を進めてまいります。</p>

※「意見・提案・感想等」については、原則として原文のまま掲載しています（明らかな誤字等と判断されるものを除く。）。

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
4	5ページ 建設候補地の評価	建設地は、現在地から最も近い場所、交通の利便を考えると、旧駒岩用地が最適と考えます。	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格（案）でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p>
5	5ページ 建設候補地の評価	「建設候補地の評価」について、各評価項目を勘案して北海道中央労災病院用地を活用することは大いに賛成します。ただ、既存の駐車場の構造上、高低差が多い現状があるので、歩行が困難あるいは不自由な方々の利用に重点を置いて、駐車場の基本設計をしていただきたいと思います。	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格（案）でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p> <p>なお、駐車場に関していただいたご意見は、今後の新病院の基本計画や設計段階における検討の参考とさせていただきます。</p>
6	5ページ 建設候補地の評価	<p>利便性についてですが、現労災病院はバスの便数が一定数確保されているとありましたが、現市立病院は様々な路線バスの停車場所でありましたので不便を感じることはありませんでしたが、それと比べると現労災病院はバスを乗り継がねば辿り着けない人が確実に増加すると思います。◎という評価のイメージがちょっとつきません</p> <p>今現在、市立と労災、両方にある診療科に行く必要があるとするなら利便性で100%市立に行きます。</p> <p>どこになるかまだ決定ではないのですが、今の場所から移転ということであれば、バス路線の構築など交通機関との協議も合わせて進めて頂きたいなと思います。</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格（案）でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p> <p>なお、「利便性」の評価にあたっては、現在の交通体系に基づく最寄りのバス停での運行便数などに基づいて評価を行ったところです。</p>

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
7	5ページ 建設候補地の評価	<p>新市立病院建設候補地の件 候補地：競馬場跡地 希望条件：今現在の公共交通機関のみにとられずに、将来の変化に対応した考えを持って検討すべき。 例えば：中央バス停留所の延線、高速道路岩見沢SAのスマートインターチェンジ化も考慮に入れるべき。 ヘリポート設置時の周辺への騒音や墜落した場合の周辺への損害等。 選定理由 ・市有地である。 ・敷地が広く建屋と駐車場を広く取れる。 ・日の出セイコーマート前の交差点から元競馬場に抜ける道路が完成した為、日の出バス停からそのまま路線を延伸するだけでバスが競馬場跡地にアクセスできる。 更にイオン無料バスも延伸されれば、入院患者や家族の利便性が向上する。又、バスのUターンも容易になる。 ・岩見沢SAに近く、将来スマートインターチェンジが出来れば近郊市からの救急搬送や一般のアクセスが時短になる。 更に高速バス停が出来れば近郊市からバスでの来院も容易になる。 ・ヘリポートが出来た場合でも、市街地に比べて騒音の問題が少なく高台にあるので上空からも建物が見えやすい。 ・敷地が広いので、患者家族用の宿泊施設を建設できる。 ・将来大型の治療装置等で病院増築になっても敷地に余裕がある。 ・除雪時の雪置き場に余裕がある。 ・雪を貯蔵し夏期の冷房する場合でも敷地に余裕がある為可能である。 予算的に直ぐに実現できなくても、敷地さえあれば将来設置する事も可能。 ・消防本署から近い。 ・住宅地から離れているので救急車サイレンの騒音問題も少ない。 ・12号線へのアクセスも良い。 ・三笠栗山線(道道30)へのアクセスも良い。 ・郊外なので騒音が少なく、空気も良い。 ・周辺住宅への日照問題が発生しない。 ・地盤が固いので建設に有利で振動も少ないので精密機器にも有利。 ・周辺にコンビニや院外薬局、託児所等の建設で敷地に余裕がある。 ・東山周辺はコンビニやドラッグストアが無いので店舗が進出したら活性化に繋がる。 ・ボイラー燃料給油用大型のタンクローリーや、酸素車両等が搬入し易い。 ・敷地が広いので地下タンク貯蔵所ではなく屋外タンク貯蔵所とし露出配管にする事で毎年の漏洩試験をせずに済み、万一漏洩しても発見し易く修理もし易く修理もし易い。 ・郊外なので、伝染病等の隔離病棟が有っても周辺住民への不安が少ない。 ・現在は、病院前に高速バスの停留所があり、病院利用者以外の駐車も有ると思われるが、郊外ではその心配がない。 ・いわびかが近くなので、日々発生する大量のゴミ処理にも有利。 ・いわびかの廃熱を上手く利用できれば、病院の暖房に利用できる可能性が有る。 ・大規模災害が有った場合でも、自衛隊岩見沢駐屯地から近く、自衛隊ヘリが着陸する場所を確保しやすい。 ・高台の為、風力発電や太陽光発電の立地に適している。</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。 選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。 また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p>

※「意見・提案・感想等」については、原則として原文のまま掲載しています（明らかな誤字等と判断されるものを除く。）。

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
8	5ページ 建設候補地の評価	公共交通機関によるアクセスを優先に考えて決定してほしい。 候補地(3)で、野球場の代替地確保が必要と記しているが、若松町、栗沢および北村に3球場もあるのに必要性が理解できない。 緑ヶ丘霊園が見えるとあるが、四季折々の景色が眺められるように工夫すればよい。 緑ヶ丘霊園は公園のようにきれいに整備されていると思うのですが・・・	新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。 選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。 また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。
9	5ページ 建設候補地の評価	どの候補地に決定になるにしても、現在の路線バスではアクセスに難があると思います。 そのため、路線バスの路線新設、既存路線の増便を進めたうえで、駅からのシャトルバス、市内循環バス(乗合いバス)など市が運営する公共交通サービスにより、自家用車が利用できない世帯でも通院しやすくなるような配慮をお願いします。	新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。 選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。 また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。
10	5ページ 建設候補地の評価	気になる事として、建設予定地ですが、市の土地を有効活用しようとする考えがあると思いますが、候補地に挙がっていた旧競馬場跡地、旧駒澤跡地など多くの論外だと思えます。安全性などの比較を載せたいのかと思えますが、そのような交通の便が悪すぎる場所に、建設候補地の一案に出される事自体、憤りを感じます。 新市役所が令和4年1月に完成し、こういった評価項目に沿って良しとした、その使い勝手の良さが検証されているのかはわかりませんが、様々な案があった中であの場所を選び、活用されるのであれば、是非ともその近辺も予定地にあげる事は出来ないでしょうか？ もし検討して頂けるなら、市役所向かい、陸上競技場の横の芝生スペースなどを利用し、病院の外ではウォーキングが出来る環境があるような場所を希望します。市役所への利便性を謳っていたので、それとの連携を図る事で多くの方が利用しやすくなるのかと思えます。 本来であれば、こういった大きな税金を使う事業に対しては、まちの経済発展という観点に合わせて検討して欲しいですが、公共施設は検討材料から除外されていると思っているので…せめて！利用しやすい、健康的な病院像を描いてみたいです。コンパクトシティと謳っていたのがいつの間にかスマートシティになっていますが、ぜひここはコンパクトシティを目指して下さい。 どうしても大きな箱モノを建設するとなると、今の時代、相乗効果を持たせる事が必要だとは考えてしまっていますが、しっかりと機能する病院というものを第一に、その次に誰もが利用しやすい、雪に強い利便性をもたせた立地が必要だと思えます。ぜひ、後悔の無い検討を進めて頂きたいです。	新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。 選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。 また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。 なお、少子高齢化や維持管理の効率性、地域経済への波及効果などを踏まえ、生活に密着した機能は出来る限り集約すべきものと考えております。 しかしながら、中心市街地や市役所周辺には建設候補地の選定条件とした40,000㎡を超える市の保有地はなく、また、ご提案のありました陸上競技場の横の芝生スペースは、都市公園(東山公園)の一部であり、市民の憩いの場として利用されているところです。また、新病院を建設するには、利用目的が変わることから、都市計画変更が必要であり、手続きには相応の期間を要することや、代替地についての検討も必要となることから、新病院の建設地としては相応しくないと評価したところです。

※「意見・提案・感想等」については、原則として原文のまま掲載しています(明らかな誤字等と判断されるものを除く。)

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
1 1	5ページ 建設候補地の評価	<p>建設候補地について、最大予測震度とレーダーチャート、バスの利便性（現行からの変更が軽微で済む事）から建設候補地(3)が良いように思われる。墓地の隣接については、特に入院棟の建てる方角（南北・東西等）を考慮する事により視野に入るか否か変わってくると想定できるため検討していただきたい。</p> <p>建築場所がどこであっても、街中以外の地区では通院に丁度いいバス・JR運行が望めない場合も当然あり得るため、気軽に使える価格帯での乗り合い型オンデマンドタクシー運行の検討も将来に向けて行なっていただきたい。</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格（案）でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p>
1 2	5ページ 建設候補地の評価	<p>幌向在住の者として、お願いいたします。</p> <p>岩見沢市の端に住んでいる者としては、JR駅より三笠寄りになると、家からの通院が遠くなります。高齢（80代）の両親がおり公共交通機関を使いにくいので（JRは高架駅の為階段の上り下りが必須、バスは便数がすくない）タクシーに乗るとなったら、三笠寄りになると時間もお金もかかります。できれば岩見沢の中心部分に近い場所の候補地2もしくは3を希望いたします。</p> <p>幌向に住んでいると、岩見沢の公共施設（図書館等）から遠く、市民サービスを受けられていない感があります。病院は誰にとっても必要なものですので、建てやすい場所であることはもちろん大切ですが、誰もが行きやすい場所という観点でも見ていただけたらと思います。よろしくお願いいたします。</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格（案）でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p>
1 3	5ページ 建設候補地の評価	<p>幌向からの利便性を考え ①現在地か ②大和地区を希望します</p> <p>幌向地区だけでなく、あらゆる地域の方が通院しやすい場所にしていきたいです</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格（案）でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p> <p>なお、現在地については、借地（約5,000㎡）を含めた面積が約24,000㎡と、新病院の必要面積40,000㎡に満たないほか、想定浸水の深さが0.5～5.0mであることなどから、新病院の建設地としては相応しくないと評価したところです。</p>
1 4	5ページ 建設候補地の評価	<p>候補地（設置希望順） ①旧駒沢高用地 ②労災病院地 ③大和地区 ④競馬場地</p> <p>バス路線の確保 ◎外来者の通院（どの候補地でも） 特に午前10時半頃までは間隔を縮めた運行</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格（案）でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p>

※「意見・提案・感想等」については、原則として原文のまま掲載しています（明らかな誤字等と判断されるものを除く。）。

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
15	5ページ 建設候補地の評価	<p>労災病院が持っている機能を継承し多くの診療科を持つ病院の存在は市民の大きな安心感につながり、さらには救急医療、専門医療の充実が重点機能に掲げられるなど、新市立総合病院への期待が膨らみます。</p> <p>建設地の選定にあたっては、多くの高齢者が通院することを考えると、交通の利便性がとても大切だと思いますので、国道12号線と4条通りの大きな道路に面し、中央バスも栄町線、三笠線、美唄線のある「北海道中央労災病院用地」が最も良い場所だと思います。</p> <p>また、バスのルート変更により、幌向方面、栗沢方面などからのバスの乗り継ぎができるだけ少なくなるよう検討していただきたいと思います。</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p>
16	5ページ 建設候補地の評価	<p>4つの候補地の中であれば「大和地区公共用地」が最も良いと思う。</p> <p>「車で10分」の評価基準外となる栗沢・北村地区などを含めて考えても、西20丁目通の開通で高い利便性が期待できる。公共交通でのアクセスは現状では難があるものの、線路沿いという特性を活かして新駅（請願駅）を設置し、駅直結の病院とする事で解消できる。加えてバスは便数が急激に減っているため、他の候補地では新病院の竣工前に路線が無くなるという不安が残る。それに比べるとJRは縮小が緩やかなので安心感が大きい。</p> <p>また敷地が広大なので、先の新駅設置と併せれば民間による医療・福祉施設の集積や宅地開発など、単なる病院の移転に留まらない将来性がある。</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p>
17	5ページ 建設候補地の評価	<p>①旧競馬場用地は「5 利便性」の部分からしても無理だと思う。 （市街地からも遠くなりすぎてしまう）</p> <p>②大和地区公共用地は「6 周辺環境」の点から無理だと思う。 （鉄道路線の騒音がある）</p> <p>③旧駒岩用地は「1 必要面積」においては十分だが、「5 利便性」から見てどうか？ 東方面（日の出、東町方向等）からの通院者に時間的損失が生じるのではないか</p> <p>現在の消防署の場所から見ても、この中で一番妥当と思われるのは</p> <p>④北海道中央労災病院用地だと思う（緊急輸送の点からも国道12号線に隣接しているし又、必要面積も十分である。）</p> <p>※問題点 バスでの通院者も多い（高齢者など） 現在の市立病院から新病院の場所がかわった場合、バス路線も考えていただけるのか？ 特に冬場の大雪の時など、病院に行けなくなる様では岩見沢においての新病院建設の意味がなくなります。ぜひ一年中、車でもバス等でもアクセスの良い新病院に期待します。</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p>

※「意見・提案・感想等」については、原則として原文のまま掲載しています（明らかな誤字等と判断されるものを除く。）。

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
18	5ページ 建設候補地の評価	<p>岩見沢市は全国の自治体では初めて「健康経営都市宣言」の認定を受けた。それを受けて、2018年に策定された第6期岩見沢市総合計画では、将来のまちづくりの都市像として「人と緑とまちがつながりともに育み未来をつくる健康都市」を目指すことになった。</p> <p>その基本施策の中で中心市街地は、都市全体の魅力の発信やコミュニティ・教育・文化・医療・福祉といった都市機能の集積を進めることとなり、まちの顔として、岩見沢市新病院は中心市街地の中に建設されるのがふさわしいと考える。</p> <p>以前、岩見沢市新庁舎建設場所の選定における判断基準として「最大予想震度の低い地域および直下に活断層帯のない場所」と言うのがあった。この基準でいうと、北海道中央労災病院用地・旧駒岩用地は活断層帯の調査が必要だと考える。（資料1）</p> <p>最終的に私の意見としては、中心市街地内にある旧中央小学校跡地と看護学校・現市立病院の活用を再検討し、同用地の間には幾春別川が流れているが、人や車両の通過できる橋の建設と洪水対策を施せば候補地として見直されると考える。</p> <p>（資料1）『横須賀市には、衣笠断層・北武断層・武山断層の3つの活断層があり、これらの活断層を震源とする地震の発生が危惧されている。市は、大規模な開発を行う際に、土地利用行為者に活断層の調査を行わせ、活断層の位置を特定したうえで、活断層上への建築を制限する地区計画を策定。野比地区地区計画（約15ha）幅50m（両側それぞれ25m）、横須賀リサーチパーク地区地区計画（約59ha）幅30m（両側それぞれ15m）を公園・駐車場・道路・空き地とした。』</p> <p>（開発事業における活断層の取り扱いについて・・・玉野総合コンサルタント株式会社 ○野澤 竜二郎 玉野総合コンサルタント株式会社 長谷川 智則 玉野総合コンサルタント株式会社 皆黒 剛）</p> <p>（資料2）石狩低地東縁断層帯、「主部」ではマグニチュード7.9程度、「南部」ではマグニチュード7.7程度以上の地震が発生する可能性があるとしている。2018年からの30年間における発生確率は「主部」でほぼ0%、「南部」で0.2%以下との想定だが、同断層帯の近くを震源とする「平成30年北海道胆振(いぶり)東部地震」の影響で地震が引き起こされる恐れもあるとして、警戒が求められている。</p> <p>（2018/9/13木曜日 13:42配信）（ヤフーニュース）</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p> <p>なお、早期性と経済性の観点から、用地取得に時間と費用をかけないこととしたことから、市の保有地からの候補地選定としたところですが、利便性の高い中心市街地には十分な面積を持つ市有地がありませんでした。</p> <p>また、市独自での活断層の調査を実施するにはボーリング調査や分析業務に多額の費用と時間を要することから、「防災と安全性」の評価においては、国が公表している全国地震動予測地図2020年版による石狩低地東縁断層帯主部が震源となった場合の最大震度を評価要素としたところです。</p> <p>ご提案のありました中央小学校跡地については、面積が約16,000㎡と、新病院の必要面積40,000㎡に満たないこと、また現在地についても借地を含めた面積が約24,000㎡と必要面積を満たさず、想定浸水の深さも0.5m～5.0mであることなどから、新病院の建設地としては相応しくないと評価したところです。</p>

※「意見・提案・感想等」については、原則として原文のまま掲載しています（明らかな誤字等と判断されるものを除く。）。

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
19	5ページ 建設候補地の評価	<p>駐車場も狭いし、当て逃げされても防犯カメラ無く 出入りも信号が無く病院の場所が悪すぎます。 建設候補地の選定・もう決まっているかもしれませんが 要望はイオンの隣か、上幌向駅近くの水田地帯とかがいいと思います</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p> <p>なお、ご提案のありましたイオン岩見沢店周辺及び上幌向駅周辺は、具体的な用地の範囲はわかりかねますが、付近の用地は想定浸水の深さが0.5m～3.0mとなっていることなどから、新病院の建設地としては相応しくないと評価したところとす。</p>
20	5ページ 建設候補地の評価	<p>私は現在日の出北に在住している高齢者です。 ・先日町内会の回覧板で読みましたところ、3個所の候補地が決まったようですね。 いつも思っていたのは、旧中央小学校の土地がまだ決まっていないのではないかと、跡地が良いなあ～ということですが… ・今回の候補地は3個所とも街のはずれです。私は労災病院が近いのでいつもお世話になっているので、自分のことだけ考えたら現労災病院を希望します。 ・しかし、そういうわけにもいかないでしょうから…皆が思うことは我が家から近いのが最高ですから。 ・どこに再建しても不便な人はいるので、市民のことを考えて（私も）又、現在車を運転している人々もいずれ自家用車には頼れなくなります。 ですから「病院」の前に停留所を設置して市内循環バスを運行して欲しいのです。無料でなくて有料でも良いから、たとえば15分おきに朝から病院の診療が終る時刻まで運行してほしいのです。 循環ですから停留所をたくさん作って欲しいです。病院は圧倒的に病人が多いのですから遠回りしても時間がかかっても利用します。 バスがあったら、3個所の何処でも良いのではと思えるのです。切に希望します。</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p> <p>なお、ご提案のありました中央小学校跡地については、面積が約16,000㎡と、新病院の必要面積40,000㎡に満たないことから、新病院の建設地としては相応しくないと評価したところとす。</p>

※「意見・提案・感想等」については、原則として原文のまま掲載しています（明らかな誤字等と判断されるものを除く。）。

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
2 1	5ページ 建設候補地の評価	<p>病院の建設候補地の選定について1ページの建設コンセプトにおいて、「南空知医療圏域住民の生活価値QOLの向上を実現する病院」と明記されています。</p> <p>「岩見沢市立病院」と「北海道中央労災病院」の統合は、単に、地域医療体制の変革ではなく、「南空知医療圏域」ひいては「空知の医療」に大きく影響を及ぼすものと思われます。岩見沢市内の医療機関のほか、周辺市町村の医療との関わりも医療提供の上では、大きな役割となります。</p> <p>新病院の建設候補地の選定にあたっては、「利便性の確保」が、その後の病院運営にも大きな影響を及ぼすものと思われます。入院や通院の患者さんや救急車等を考えたときに、豪雪地帯の岩見沢においては、広い道路幅員と複数のアクセス道路の確保も必要かと思えます。</p> <p>「北海道中央労災病院用地」は、国道12号線と市道4条通りに接しており、この2本の通りには、中央バスも路線を有し、バス停もあります。</p> <p>この「骨格案」を拝見し、「新病院の建設候補地」としては、交通アクセス面で、国道及び市道の整備状況やバス路線の運行など、新たな整備を最小限に、既設の設備の利用により、総体経費の縮減にも繋がることも判断する上での大きなファクターかと思えます。</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p>
2 2	5ページ 建設候補地の評価	<p>今は、市外から岩見沢の会社に通勤していますが、岩見沢に住んでいた時から市立病院にお世話になっています。</p> <p>岩見沢の実家には高齢の両親が暮らしていますが、市立病院があるおかげで、離れていても大きな安心感があります。</p> <p>ただ、全国的に大きな地震や大雨による災害が絶えないように感じており、いつ岩見沢に大きな災害が起きるかわかりませんので、災害に強い病院にしてほしいです。</p> <p>候補地の中で選ぶとしたら、国道沿いの高台にある労災病院が一番良いと思います。</p> <p>それから、統合すると患者数も増えると思うので、路線バスは今の便数をもっと増やして高齢者にも不便なく通院できるようお願いします。</p>	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p>
2 3	5ページ 建設候補地の評価	<p>以下の理由で北海道中央労災病院用地を新病院建設地として要望します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 公共施設等の均衡ある配置 <ul style="list-style-type: none"> ・ 岩見沢を東西に分けた時に公共施設や商業施設はその多くが西側に存在しています。市の均衡ある発展を考慮し新病院の建設地は東側が望まれます。 ● 持続可能な新病院を目指し <ul style="list-style-type: none"> ・ 人口減少が進展する岩見沢市において新病院の利用者も減少が予想されます。利用者確保の点から、近隣自治体 美唄・三笠・月形の住民も利用しやすい建設地が望まれます。 	<p>新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。</p> <p>選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。</p> <p>また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。</p>

※「意見・提案・感想等」については、原則として原文のまま掲載しています（明らかな誤字等と判断されるものを除く。）。

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
24	5ページ 建設候補地の評価	建設予定地はレーダーチャートを見ると駒沢跡地か労災病院用地の二択と思いますが、国道12号線に隣接している点から労災病院用地が適当であると考えられます。 駒沢跡地も国道234号線に近いものの、美園7条通りは冬期は特に道幅が狭くなり、救急車など不安があります。拡幅や新しい道路の新設は現実的ではないと思います。	新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。 選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。 また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。
25	5ページ 建設候補地の評価	建設場所はみなさん自分の家に近い場所を希望すると思うので難しいですが、高齢者にとっては交通の便が大事なので、労災病院は中央バスが日の出栄町循環線、三笠線、岩見沢美唄線と比較的多くて良いと思いますが、バスの増便と病院の玄関前までの乗り入れを希望します。	新病院の建設地は、市民の皆さまなどからいただいたご意見も踏まえ、新病院に求められる立地を総合的に勘案した結果、北海道中央労災病院用地に決定いたしました。 選定理由としては、「早期性」、「経済性」の観点から新病院の骨格(案)でお示した4つの建設候補地の中から選定することを基本とした上で、特に「防災と安全性」、「利便性」を重視し、とりわけ国道に面した立地の優位性を高く評価したものです。 また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。

番号	該当項目等	意見・提案・感想等	市の考え方
4. 関連施設の方向性(案)			
1	6ページ 関連施設の方向性	「関連施設の方向性」について、全ての結論は妥当であると考えますが、施設移転後に旧施設をただ単に解体するのではなく、他に利用できる価値がないかを十分に検討してから結論を出していただきたいと思います。	同時移転の方向性としている院内保育園・病児保育施設と市民健康センターに加えて、平成17年に建設した新棟も他の用途での利活用が可能な施設と考えております。 一定規模の土地や複数の施設の利活用となるため、市役所内に横断的な組織を設け、官民にこだわらない幅広い観点から利活用策の検討を進めているところであります。
2	6ページ 関連施設の方向性	病院の跡地問題をどうするか。 現市立病院跡地については有効利用されることが望ましい。国道12号線と234号線の交差する付近にあり、車線からの車の導入もしやすいことから、道の駅などに活用するのはどうであろうか。	一定規模の土地や複数の施設の利活用となるため、市役所内に横断的な組織を設け、官民にこだわらない幅広い観点から利活用策の検討を進めているところであります。 道の駅としての活用についてはご意見として参考にさせていただきます。
3	6ページ 関連施設の方向性	・新病院が高等看護学院を支援する必要性の説明がない。たとえば学院の学生の多数が市立病院に勤務している実態などを示し、支援の必要性を明示する必要がある。	高等看護学院は市立の看護師養成学校であり、病院事業の付帯施設として運営しています。 毎年卒業生の6～7割程度が市立総合病院に就職しており、岩見沢市における医療従事者の養成機関として重要な役割を果たしております。
5. その他			
1	その他	道・市の計画変更はこの時点はもう無いものと思う。 要望は病院開院時に医療機器、設備が最新で、道内一番の医療環境を整えて欲しい。 市には通院の交通の利便の確保をお願いします。	新病院は、引き続き南空知医療圏域の地域センター病院として、急性期を中心とする医療提供体制の充実を図ってまいります。 また、交通アクセスの利便性を重視するご意見が多かったことを踏まえ、新病院への交通アクセスの更なる向上に向け、公共交通事業者などの関係機関との協議を進めてまいります。
2	その他	新病院の計画という、すべての市民に関わる重要な情報を、説明動画のリンクや市立病院のホームページで知らせるのではなく、市の広報を使って市民に伝えるようにしてください。 (病院建設という性格上、情報弱者への配慮を第一にすべきと思います)	新病院の骨格(案)はページ数もあり、広報紙への掲載はできませんでしたが、パブリックコメントや市民説明会について、報道機関へのプレスリリースや町会回覧により広く市民の皆さまへの周知を心掛けたところです。 また、パブリックコメントや一般市民の皆さまを対象とした説明会に加え、岩見沢市町会連合会や老人クラブ連合会、障がい者団体等を対象に意見交換会を開催し、ご意見を伺ったところです。
3	その他	・希望者には、入院時に最低限必要な物品（歯磨きコップ・ストロー・タオル・バスタオル・歯磨き粉・歯ブラシ・シャンプー・リンス・ボディソープ・箱ティッシュ）等一つにまとめられた入院セットがあると便利。（緊急入院に対応ができる上に患者の荷物軽減になる。） ・高温消毒された患者用のタオル・バスタオルのレンタル ・患者の病衣の上の紐が内側・外側の2か所しかないため、胸元が開いてしまい女性は着づらと思うので、外側の紐を2か所にしてほしい（胸元・腹部周辺など）	入院患者が快適に過ごせるよう、今後の基本計画策定に向けた参考とさせていただきます。